

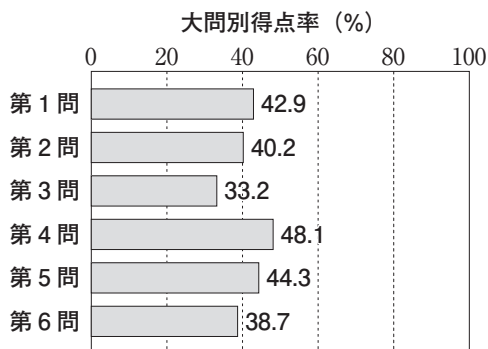
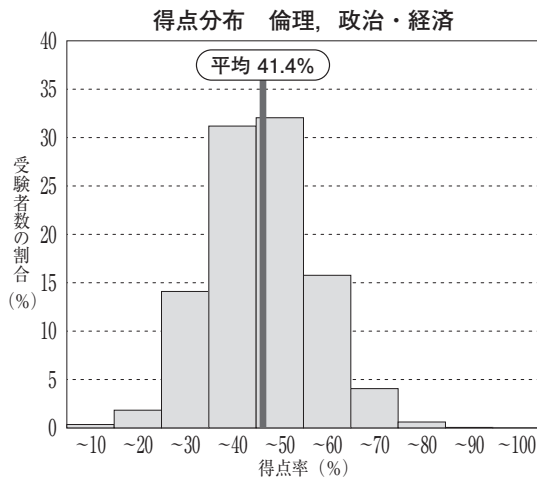
倫理, 政治・経済

まだスタートラインについたばかり。ここから一步一步前進していこう。

I. 全体講評

「第1回2月センター試験本番レベル模試 倫理, 政治・経済」の平均点は、41.4点であった。結果がっかりした受験者もいるかもしれないが、まだスタートラインについたばかりである。伸びしろが大きいと、前向きに捉えてほしい。東進のセンター試験本番レベル模試は毎回本番レベルで出題されるので、これを自分の学習状況を測る目安にして、12月の模試まで得点を積み上げていこう。

全体として、政経分野の出来の方がよかった。高校で倫理と政経の両分野を学習している受験者は少ないだろうから、倫理は独習という受験者が多いと見られる。倫理分野についても自分で計画的に学習を進めていってもらいたい。



II. 大問別分析

第1問 青年期分野・現代社会分野

正確な知識がないと点の取れない8択問題で多くの受験者がつまづいた。

青年期・現代社会分野全体の得点率は42.9%であった。問3 [3]の資料読解問題は正答率が90%を超えたが、思想家の組合せが問われた問2 [2]や各記述の正誤の組合せが問われた問5 [5]は正答率が非常に低かった。近年のセンター倫理で特徴的な組合せ問題は8択となるので、正確な理解が特に重要になる。

第2問 源流思想・日本思想分野

多くの受験者が8択問題に苦戦。読解問題も振るわなかった

得点率は40.2%と、低かった。第1問と同様、8択問題であった問3 [8]と問4 [9]は、それぞれ正答率20%前後と苦戦した。二宮尊徳の資料文読解問題(問5 [10])は上出来であったが、本文の趣旨読解問題(問7 [12])は、この種の問題としては低調だった。読解問題は読み飛ばさず、とにかく丁寧に取り組んでほしい。

第3問 源流思想・西洋近現代思想分野

最も出来が悪かった。出題形式への慣れも必要

得点率は33.2%と、大問中最も低かった。西洋思想分野は最も深い学習を要するところなので、時期を考えるとやむを得ないところもあるだろう。キルケゴールについての問5 [17]は正答率が1割にも満たなかった。三つの記述のすべてを正誤判定するという形式は、正確な理解がないとまったく点にならない。こうした形式にも慣れてほしい。

第4問 基本的人権

上出来であったが、まだまだ学習の積み重ねが必要

大問としての得点率は48.1%と、時期を考える

とまらずであった。参政権についての問6 [25]などは8割近くの受験者が正答しており、現実に関わりの深いテーマについては理解が浸透している様子が伺える。一方で、三つの短文すべてを正誤判定しなければならぬ問4 [23]は苦戦している。正確な理解にはまだ遠い状況であると言えよう。

第5問 国民所得

計算問題も、ただ公式を暗記するのではなく、理屈をよく理解することが重要

得点率は44.3%であった。経済成長率についての計算問題(問1 [28])は過半数の受験者が正答できていた。この分野について未修であっても、設問文のヒントから正答を導いた受験者もいるかもしれない。とてもよいことだ。ただ暗記するよりは、理屈を自分の頭で考えられることが重要である。

第6問 戦後の国際経済

難問の正答率は低かったが、全体としてはままずまずの出来

大問としての得点率は38.7%と、政経分野では最も低かった。ただ国際経済は政経でも最後に学習する分野なので、時期を考えると、むしろ健闘したとも言えるかもしれない。5問中4問までは、正解選択肢の回答率が最も高かった。ただ冷戦についての問4 [36]だけは、逆に正解選択肢の回答率が最も低かった。なんとなくのイメージに引きずられたのであろう。正確な理解が重要なので、解説をよく読んできっちり理解してほしい。

Ⅲ. 学習アドバイス

◆まずは全分野を概観しよう。

多くの受験者はセンター型の模擬試験を初めて受験したことだろう。結果に落胆してしまった受験者もいるかもしれない。しかし東進の模試は受験者の学習進度を勘案して「手加減」していないものであるから、本番並みに得点できなくても、ある意味で当然である。残りの11か月間で着実にレベルアップしていくように計画的に学習を進めてほしい。

そのためにまず必要なことは、倫理と政治・経済の全分野をできるだけ早く概観することである。倫理、政治・経済という科目は、倫理と政経の2科目分を網羅的に学習しなければならない科目であ

る。たかが公民と思って後回しにすると、痛い目にあう。理解できなくてもいいので、とにかくそれぞれの教科書を最後まで通読するところから始めよう。おおよそどんなことが主題となっているのかということだけでも把握しておけば、見通しが立つようになってくることだろう。

◆次回の模試に向けて。

早い時期に全分野を概観してほしいが、焦ることはない。まずは自分が学習した範囲について、目標正答率が獲得できるようにしてほしい。学んでいない範囲が正答できないということ、学んだ範囲であるにもかかわらず正答できないということでは、意味がまったく違う。

この時期はまだ多くの分野が未修であろうが、これからそうした分野はどんどん少なくなっていくはずなので、回を追うごとに、より高い得点が求められるようになってくる。今後の模試も、今回の点数を下回らないよう、毎回少しずつ点数が上がっていくように頑張してほしい。